

「令和7年度 第1回安定・効率輸送協議会(3部会合同会合)」の議事概要

1. 安定・効率輸送協議会について

日時：令和7年5月15日（木） 10：00～11：30 形式：対面

2. 議事概要

- 冒頭、国土交通省海事局（以下、海事局）より、持続可能な内航海運のために、本協議会等を活用しながら必要な取組を進めたく、関係者のご協力をお願いしたい旨、説明。
- 日本内航海運組合総連合会（以下、内航総連）や、日本鉄鋼連盟（以下、鉄連）、石油連盟及び石油化学工業協会（以下、石化協）より「内航アクションプラン」のフォローアップについて説明。内航総連からは、オペレーター（運航事業者）では【法令で義務付けられている項目】及び【ガイドラインで推奨されている項目】とも全ての事業者で実施している旨、発言があった。また、オーナー（船主）においても「ガイドラインで推奨されている項目」で、これまで1年以内に実施予定や取組検討中との回答していたものが、全て改善された旨、発言があった。荷主団体からは、生産性向上・業務効率化等に向けた取組について、昨年度はまだ着手フェーズであった船舶の動静情報把握に関するシステム導入等の新規取組が今年度に定常的な運用へと移行するなど、着実な実施につながっている旨、発言があった。【資料1】
- 海事局より、今年度中に策定予定の「標準的な考え方」について協力を依頼したほか、今後のスケジュール等について説明。【資料2】
- 石化協及び内航総連より、船員確保のための協働行動に関する検討事項を踏まえた「石油化学製品の海上物流に関する適正化・生産性向上に向けた自主行動計画」（令和7年3月公表）について説明。【資料3】
- 海事局より、昨年6月から実施している「みんなで創る内航」推進運動について、現在の参加状況を報告するとともに関係団体を通じた周知を依頼。【資料4】